

3. 実践報告

社会人女性のリカレント教育ニーズに関する調査分析 －武庫川女子大学卒業生アンケート調査結果より－

Survey Analysis of Adult Women's needs for Recurrent Education: Based on the Questionnaire Survey of Graduates of Mukogawa Women's University

高橋千枝子

抄 録

人生100年時代の到来に伴い、女性のリカレント教育の充実が大学等に求められている。武庫川女子大学(学院含む)卒業生を対象としたアンケートを通して、社会人女性のリカレント教育に対するニーズを明らかにした。本学卒業生の学び直し意欲は高く、出身学科関連分野に加えて、ビジネスや統計、情報、マネジメント分野にも一定のニーズがあった。対面授業より遠隔授業を希望し、キャリアカウンセリングや職業紹介など具体的な就業支援を求めている。今後、本学がリカレント教育に取り組むにあたり、効果的で魅力あるプログラムと体制構築、ターゲットの絞り込み、提供カリキュラム・プログラム選定及び学内リソース活用、実益あるキャリアサポート、IT・デジタル対応の推進などの課題について検討した。

キーワード：リカレント教育、学び直し、社会人女性、卒業生アンケート、女子大学

1. はじめに

人生100年時代の到来に伴い、年齢にとらわれず就業後も学び直しを行い、自律的にキャリアを形成するリカレント教育の取り組み、その中でも女性のリカレント教育(女性のキャリアアップに向けた学び直しとキャリア形成の一体的支援)の開設が大学等に求められている⁽¹⁾⁽²⁾。リカレント教育とは、経済協力開発機構(OECD)が1970年代に提唱した生涯教育の一形態で、フォーマルな学校教育を終えて社会の諸活動に従事してからも、個人の必要に応じて教育機関に戻り、繰り返し再教育を受けられる循環・反復型の教育システムを指し、社会人の学び直しと呼ばれる(リカレント: recurrentの意味は反復・循環)。つまり、キャリアアップや転職・再就職に活かす社会人の学び直しである。類似した言葉に生涯学習があるが、生涯学習は、必ずしもキャリアアップにつながらない趣味やスポーツ、ボランティアといった生きがいにつながる内容も含まれる。リカレント教育はあくまでも仕事・キャリアにつながる学びである。

武庫川女子大学(以後本学)は女性教育に関わってきたが、社会人女性を対象としたリカレント教育への取り組みは不十分である。既に女子大学を含む複数の他大学が社会人女性向けリカレント教育に取り組んでいるなか、本学は後発となる為、先行する他大学との差別化した取り組みにより受講者を確保する必要がある。本学は学院創立100周年である2039年を見据えたVISONとして、生涯をきり拓いていく女性力を育む教育「一生を描ききる女性力を。」を掲げ、在学生だけでなく、卒業生を含む社会人女性への教育の充実も目指している。まずは19万人を超える本学(学院含む)卒業生のニーズに応えるリカレント教育プログラム構築を目指していく予定である。しかし、卒業生のリカレント教育への取り組みやニーズに関するデータがないため、本学卒業生を対象としたアンケートを実施した。本学卒業生を対象としたアンケートを通して社会人女性のリカレント教育に対する取り組みやニーズを明らかにするとともに、今後の本学リカレント教育プログラム内容や体制構築に関する課題を検討した。

II. 方法

本調査概要は下記のとおりである。

1. 調査対象

本学同窓会組織「鳴松会」に住所登録されている本学院卒業生(134,568人)。但し社会人女性のリカレント教育ニーズの調査が目的であるため男性(大学院卒業生)は除外した。

2. 調査方法

2021年2月下旬の発刊「鳴松会報(同窓会報)」に調査協力を呼び掛けるチラシ(WEBアンケートURL・QRコード記載)を同封し、WEBアンケートによる調査を行った。また卒業後も利用可能な大学メールアドレス(mwu.jp)が付与されている2017年3月～2020年3月卒の卒業生12,230人に大学メールアドレスにて別途調査依頼を行った。調査期間は2021年2月～6月末とした。単純集計および属性別クロス集計で分析した。

3. 調査項目

- a. 属性・現況(11項目)：①卒業学科，②卒業年，③年齢，④居住地，⑤転職・復職状況，⑥ライフイベント(結婚・出産等)によるキャリア変更，⑦現在の就業状況，⑧現在の役職，⑨現在の業種，⑩家族形態，⑪家計の主たる稼ぎ手
- b. キャリア観(2項目)：①キャリア・ライフの価値観，②キャリア・ライフデザインの考え方
- c. 学び直しの経験・関心(7項目)：①学び直し経験，②分野，③場所，④学び直し意向，⑤学び直し理由，⑥希望する学び直し分野，⑦学び直しができない理由
- d. 武庫川女子大学提供の学び直し講座・プログラムへの関心・意向(7項目)：①利用意向，②利用場所・形態，③時間帯，④開講形態・期間，⑤女性起業家・女性管理職講座への関心，⑥料金，⑦利用したくない理由
- e. 希望するサポート内容その他(6項目)：①希望する付帯サービス，②告知・連絡方法，③大学院への進学希望，④大学院進学サポート，⑤卒業後に学べる場所・講座の認知または利用参加経験，⑥情報入手先

4. 倫理的配慮

本調査は、武庫川学院個人情報保護規定に従い集計・分析に際して個人が特定化されないことがないように人権に対する配慮を行った(本学教育研究所倫理審査承認：承認番号2002-MWUIE-A-01)。

III. 結果

1. 属性・現況

本調査の回答者数は964名であり、回答率は0.7%であった。回答者の基本属性の結果を示す(表1)。本学最終学歴は大学卒業が63.3%、短大卒業が24.6%であった。最終卒業学科(別表①学科略称対応表参照)は大教が最多13.5%、次いで大食が9.9%、年齢では18～29歳が最多43.4%、次いで50代が17.9%であった。居住地は近畿圏が最多79.9%、家族形態は独身・子供なしが最多52.8%であった。若年層(18～29歳)の回答者が多かったのは、2017年3月～2020年3月卒の卒業生が保有する本学メールアドレスにて別途調査協力依頼を行った影響と推察される。

次に就業状況・役職の調査結果を示す(表2)。転職・復職状況では「転職せず働き続けている」が最多46.4%、ライフイベントによるキャリア変更では「特にライフイベントがない」が最多42.9%であった。現在の就業状況は教育機関(教師、保育士、事務職など)が最多19.6%、民間企業の正社員(総合職・技

術職)が16.0%, 民間企業の正社員(一般事務職)が10.5%と続く。また非正規雇用(契約社員・嘱託社員・派遣社員, パートアルバイトの合計)が12.5%, 専業主婦が7.1%であった。現在の役職では一般社員(役職なし)が最多47.0%, 次いで教員(役職なし)が20.2%であった。また経営層(経営者及び役員の合計)は2.5%, 管理職(上級管理職および中級管理職の合計)は4.6%であった。

回答者の卒業生の多くは, 卒業後近畿圏で学科専門に直結した専門職や正社員として就職して, まだライフイベントを経験しておらず, 最初の勤務先で働き続けていると思われた。

2. キャリア観

キャリア観の調査結果(表3)から, キャリア・ライフの価値観は, 「仕事と家庭・プライベートを両立させたい」が最多61.5%, 次いで「生きがいとなる仕事を見つけたい・続けたい」が48.3%, 「社会のためになる仕事をしたい」が40.6%と続く。一方, 「グローバルに活躍したい」が11.2%, 「できるだけ昇進・出世したい」が最少7.6%であった。グローバルな活躍や昇進・出世より, 家庭・プライベートと両立しながら, 生きがいや社会のためになる仕事に従事・継続したい志向が伺えた(表3)。

次にキャリア・ライフの価値観の年代別の違いでは(表3), 20～30代は「経済的に自立したい」および「できるだけ沢山お金を稼ぎたい」が40%台, 「生きがいとなる仕事を見つけたい・続けたい」が50%台, 「仕事と家庭・プライベートを両立させたい」が約70%と, 仕事も収入もプライベートにも前向きな姿勢が伺えた。40～50代は「生きがいとなる仕事を見つけたい・続けたい」が約50%, 「仕事と家庭・プライベートを両立させたい」が60～70%と20～30代と似た傾向がみられるが, 「できるだけ沢山お金を稼ぎたい」が20%台まで下がり, 50代は「社会のためになる仕事をしたい」が約50%と20～40代の30～40%を上回る。60～70代は「社会のためになる仕事をしたい」が40～50%と30～40代の40%を維持している一方, 「仕事と家庭・プライベートを両立させたい」が20～30%まで低下した。

20～30代は仕事もプライベートも収入にも前向きな姿勢が伺えるが, 40～50代になると仕事とプライベートの両立をしながら, 収入よりも社会のためになる仕事をしたい意向が高まり, 60～70代もその意向は継続していることが伺えた。また20～30代は「家庭・プライベートを重視したい」が約30%で, 40～50代の約20%を上回っており, 仕事よりも家庭・プライベートを重視する保守的な価値観が伺えた。

キャリア・ライフデザインの考え方は, 「ライフイベント前と変わらないペースで働きつづける」が最多33.2%, 次いで「退職せずに仕事のペースを落とす」が32.5%と, 就労継続意向が約65%であった。一方, 「一旦退職して, 家事や育児に専念して, 専業主婦を続ける」が2.9%と少数であったが, 「一旦退職して, しばらくは家事や育児に専念して, 子育てが落ち着いたら仕事を再開する」は19.0%であった。この回答者の割合は20～60代の世代別割合に大きな差はなく, 母親世代と同様の保守的な考え方を持つ若者(20～30代)が一定割合いることが伺えた。それは前述した20～30代の3割が「家庭・プライベートを重視する」を回答したことと関連すると考えられる。

本調査回答者の卒業生のキャリア観は, 収入や出世への意欲は弱く, 生きがいや社会貢献につながる仕事に従事しつつ, 仕事と家庭・プライベートを両立する人生を送りたい意向が強い一方で, 家事や育児で一旦退職する保守的なライフデザインを志向する人も一定数いた。その割合は40～50代より20～30代の方が多かった。

3. 学び直しの経験・関心

卒業後の学び直し経験・関心の調査結果(表4)から, 学び直し経験有は34.1%, 学び直し経験無は58.6%であった。学び直し経験分野の上位は, 「医療・福祉・看護」(26.4%), 「教育」(25.5%), 「パソコン操作」(19.5%), 「英語(日常会話)」(18.5%)の順であった。学び直し内容の詳細は不明だが上位2つは出身学科と関係した学び直しと推察される(設問では「卒業学科が提供している資格・免許の更新研修は除く」としている)。学び直し場所は民間スクール(通学)が最多33.7%で, 本学利用は14.9%であった。学び直しができていない理由は, 「仕事が忙しく時間がない」が最多57.1%であった。

今後の学び直し意向は、「ぜひ学び直しをしたい」(19.4%)、「条件が合えば学び直しをしたい」(53.4%)と合わせて72.8%であった。年代別では30～40代の学び直し意向が約8割に高まる。学び直し理由の上位は、「スキルアップ(今の仕事・職場に活かす)」(65.7%)、「教養を深める」(59.8%)、「収入アップ(手当含む)」(27.6%)、「転職」(26.2%)の順であった。年代別では20～30代は「収入アップ」意向が高く(約40%)、40～50代は「定年後に備える」意向が高い(約30%)。

学び直し希望分野の上位5項目は、「英語(日常会話)」が最多43.6%、次いで「心理」(33.2%)、「教育」(26.6%)、「パソコン操作」(25.8%)、「医療・福祉・看護」(24.1%)と続き、前述の学び直し経験分野と心理以外は重複していた。次いで20%を超えた項目は「健康・運動」(21.7%)、「コーチング・カウンセリング」(22.6%)。さらに次いで10%を超えた項目は、「簿記・税務・会計」(19.1%)、「ビジネス英語」(18.7%)、「経営・マーケティング」(17.9%)、「基礎栄養・臨床栄養」(17.4%)、「思考法(ロジカルシンキング、デザイン思考等)」(16.1%)、「プログラミング」(15.8%)、「統計・データ分析」(15.2%)、「デザイン(グラフィックデザイン、ウェブデザイン等)」(12.8%)、「マネジメント・リーダーシップ」(12.7%)、「英語以外の語学」(12.5%)、「金融・保険」(12.3%)、「起業・独立」(10.7%)であり、ビジネス分野やIT・情報分野、マネジメント分野にも一定のニーズがみられた。これらの多くは学び直し経験が少なかった(10%を下回る)。

調査回答者の卒業生は、学び直し意向が約70%と高く、スキルアップと教養の両方のニーズが高かった。学び直し経験が多い分野と今後の学び直し希望分野の上位は殆ど重複しており、これまで学び直してきた分野を継続して学びたい意向が伺えた。またこれまで学び直し経験が少なかった分野で今後学び直しを希望する分野として回答率は高くはないが、ビジネス分野やIT・情報分野、マネジメント分野があげられた。今後詳細分析が必要ではあるが、出身学科に関係した学び直し分野を中心としながら、キャリアアップに資するビジネス・マネジメント分野の学び直しにも一定のニーズがあると思われる。

4. 武庫川女子大学提供の学び直し講座・プログラムへの関心・意向

本学提供の学び直し講座・プログラムへの関心・意向の調査結果(表5)から、本学提供講座・プログラム利用については、「ぜひ利用したい」(12.9%)、「内容や費用、時間帯が合えば利用したい」(71%)と合わせて83.8%であった。利用したくない理由は、「仕事が忙しく学ぶ機会がない」が最多37.7%、次いで「遠方に住んでいるので通えない」が20.8%であり、物理的要因(時間・距離)が上位であった。また「武庫川女子大学が提供する講座の内容・レベルに期待できない」が13.0%であった。

利用場所・形態は、「オンデマンド配信」が最多81.7%、次いで「インターネットを通じたリアルタイム授業」が45.4%、「講義動画を視聴して課題を提出する授業」が36.3%と、上位3項目がいずれも遠隔形態希望であった。一方、対面形態(本学中央キャンパスまたは鳴尾ステーションキャンパス)希望は約30%にとどまった。利用時間帯は「土日祝日」が最多66.7%、次いで「平日夕方・夜」が50.2%であった。

開講形態・期間は、「単発講座」「2～3回の連続講座」「2～3ヵ月間の連続講座」がいずれも約50%と、長期(3ヵ月以上)を希望する割合を大きく上回った。講座1回(90分)あたり妥当な料金は、対面授業が「1,000～2,000円未満」(26%)、「2,000～3,000円未満」(25.5%)が上位2つ、オンライン授業は「1,000円未満」が32.2%と最多、次が「1,000～2,000円未満」の31.2%であった。

本学が提供する「女性起業家養成講座」または「女性管理職養成講座」への関心について、「女性起業家養成講座」は、「ぜひ受講したい(10.8%)」と「関心があるが受講するかはわからない(35.8%)」との合計46.6%、「女性管理職養成講座」は、「ぜひ受講したい(13.6%)」と「関心があるが受講するかはわからない(42.3%)」との合計が55.9%であり、女性管理職養成講座の関心が約10%高かった。30代はどちらの講座への関心も全世代値より約10%高かった(女性起業家養成講座56.9%、女性管理職養成講座64.7%)。

調査回答者の卒業生は、本学(母校)が提供する講座・プログラムへの利用意向は80%を上回り、対面形態より遠隔形態、長期より単発・短期を希望することがわかった。また女性起業家養成講座および管理職養成講座はいずれも約50%が関心を持っていた。

5. 希望するサポート内容その他

学び直しに際して希望するサポート内容その他(表6)から、本学が提供する学び直し講座に希望する付帯サービスは、「専門家によるキャリアカウンセリング」が最多55.8%、次いで「再就職紹介、職業斡旋・紹介サービス」が42.2%であり、専門家・専門業者への期待が高い。本学が提供しているイベント・講座等の情報入手手段は、「鳴松会報」が最多45.7%であったが、「特に情報を得ていない」が36.9%であり、本学のイベント講座などの情報が十分にいきわたっていない実態がうきぼりになった。なかでも20代は「特に情報を得ていない」が55.1%おり、「鳴松会報」からの情報入手は20.1%にとどまっている。

今後の希望する告知・連絡方法は、「電子メールで案内する」が最多63.2%、次いで「大学HP(学び直し講座専用HP)に掲載する」が55.6%と、インターネットでの告知・連絡を希望する人が多かった。一方、「定期的に講座案内パンフレットを郵送する」は42.2%であった。

卒業後に学べる場所・講座の認知・利用参加経験は、「いずれも知らない・参加したことがない」が最多54.9%で過半数を超え、特に20代が顕著(66.2%)である。具体的講座等で10%を超えたものは「オープンカレッジ」(28.1%)、「教員免許更新講座」(18.6%)、「鳴松会主催の教養講座」(12.1%)にとどまった。

大学院への進学希望は、「特に希望していない」が最多73.9%、「本学大学院への進学希望(卒業学科および卒業学科以外)」は6.1%にとどまった。希望する大学院進学サポートは、「奨学金、授業料割引などの金銭サポート」が最多63.2%であった。

調査回答者の卒業生は、学び直しのサポート内容として、キャリアアップや再就職につながる専門家・専門業者によるカウンセリングや就職斡旋・紹介サービスの期待が高いことがわかった。また本学提供イベント・講座等の情報を鳴松会報から入手している回答者が最も多いが、20代はそもそも情報を得ていない回答者が過半数を超えていた。またインターネット(ホームページや電子メール)での情報提供を希望する割合が高かった。しかしながら紙媒体(パンフレット)からの情報入手希望も根強く残っていることもわかった。

IV. 考 察

本調査の結果を踏まえて、本学が取り組む社会人女性のリカレント教育プログラム・体制構築の今後の検討課題について考察する。

1. ターゲットの絞り込み

調査結果より学び直し意向は約8割と高いが、学び直し目的がスキルアップ、教養、収入アップ、転職など多岐にわかれており、世代によっても目的が異なっていた。従って、どの年代・ライフステージの、どのような将来設計を持つ女性をターゲットにするか、ターゲットを一つにするのか複数にするのか検討する必要がある。例えば想定ターゲットとしてはいくつか考えられる。

- a. 補助職から責任・やりがいのある総合職・基幹職にキャリアアップしたい女性
- b. ライフイベントで退職して家庭に入ったが、正社員として復職したい女性
- c. 専門職として働いてきたが管理職となり、経営やマーケティング、人事などについて学びたい女性
- d. 定年後・老後も生きがいとなる仕事で一定の収入を得たい女性
- e. 自分の趣味や特技を生かしてスモールビジネスで活躍したい女性
- f. デジタルスキルを学び直して、高収入の企業・仕事に転職したい女性

これら以外のターゲットも考えられるが、どのターゲットに市場性・成長性があるかの分析、競合相手となるリカレント教育を先行している他大学や教育事業者の取組みの分析、さらには「関西圏の女子総合大学」「実学(資格・就職等)に強い」という本学の特徴・イメージの考慮も踏まえて、今後本学が社会人女性を対象としたリカレント教育に取り組むにあたり、どのターゲットを設定するのが適切なのか更に検討していく必要がある。

2. 提供カリキュラム・プログラム選定および学内リソース活用

調査結果より、学び直し希望分野上位5項目は、「英語(日常会話)」「心理」「教育」「パソコン操作」「医療・福祉・看護」であった。次いで出身学科に関連する学び直しと推察される分野(健康・運動, 基礎栄養・臨床栄養等)に加えて、ビジネス分野やIT・情報分野, マネジメント分野にも一定のニーズがあり、また女性起業家養成講座および女性管理職養成講座へも一定の関心がみられた。

多様な出身学科(本調査では大学12学科・短大8学科)からの回答でもあり、希望する希望分野は多岐にわたっている。提供するカリキュラム・プログラムを希望分野上位に絞り込むのか、多岐にわたる希望分野をカバーする総合型にするのか、女性起業家養成や女性管理職養成といった特定講座を提供するのか、などの選定が必要となる。既に女子大学も含めた多くの大学が女性向けリカレント教育講座・プログラムを提供しており、本学が位置する関西圏でも京都女子大学や関西学院大学が先行している⁽⁹⁾⁽¹⁰⁾。本学が今後リカレント教育に取り組むにあたり、これら先行しているプログラムとは異なる新規性、独自性のあるものを作り上げていく必要がある。新規性・独自性のあるリカレント教育カリキュラム・プログラム策定に向けて、多様な学内リソースの活用も必要である。本学は女子総合大学として、多様な学科を背景とした多様な人的資源・スキルが蓄積されているが、2020年4月の経営学部開設によりビジネス・マネジメント分野、2022年4月の社会情報学部開設(予定)により情報・データサイエンス分野の人的資源・スキルが新たに強化されるため、活用できる学内リソースが更に充実する。

3. 実益あるキャリアサポート

本調査では、専門家によるキャリアカウンセリングや再就職紹介、職業斡旋・紹介サービスといった、具体的にキャリアアップや再就職につながる専門家・専門業者への期待が高かった。単に学び直しの機会を提供するだけではなく、効率的・効果的な学び直しのアドバイス、学び直し後の再就職・転職まで、実益あるキャリアサポートが必要とされる。職業紹介事業者との連携は勿論のこと、本学で高い就職実績を誇るキャリアセンターとの協力も必要になる。また本学との関係性がある多くの企業・団体とも再就職に関する協力を仰ぐ必要がある。

4. IT・デジタル対応の推進

本調査では、コロナ禍でテレワークが定着したこともあり、遠隔形態の希望が対面形態を上回り、オンライン主体での講座・プログラムの提供を検討する必要がある。オンライン主体にすることで、学び直しができない物理的要因(時間・距離)を解決でき、料金水準も抑制できる。対面形態も約3割が希望しており、オンラインとの組み合わせ(遠隔形態とスクーリング)といった形態も考えられる。

また本調査では、本学提供イベント・講座等の情報を鳴松会報から入手する人が最も多いが、20代はそもそも情報を得ていない人が過半数を超えていた。今後の情報提供は紙媒体だけでなくインターネット(ホームページや電子メール)を希望する割合が高かった。よって鳴松会報の電子化や、専用サイトへの学び直しに関する情報掲載、電子メールやSNSで若い層にも情報が届く取り組みが必要である。またチャットボット(人工知能を活用した自動的に会話をを行うプログラムによる自動問い合わせの導入)などデジタル化の推進も必要である。

本調査分析における限界点を上げる。回答者の43.4%が20代であったため、調査結果は20代の回答が反映されている。これは、回答率向上のためアンケート依頼を郵送に加えて大学メールアドレスを持つ卒業生(20代)にメールでの調査依頼を実施したことが要因である。また本調査の目的は社会人女性のリカレント教育プログラム・体制構築の検討材料を得ることであったが、本学卒業生(女子大学卒業、主に関西圏在住)の回答結果が社会人女性の回答結果と一致しない点もあると考えられる。従って、今後は卒業生以外の社会人女性のニーズ調査も必要である。

V. 結 論

本調査の結果を踏まえて、今後の本学リカレント教育プログラム内容や体制構築に関する検討課題を明らかにした。

本調査結果より、本学卒業生の学び直しの意欲は強く、出身学科関連分野に加えて、ビジネス分野やIT・情報分野、マネジメント分野、女性起業家養成や女性管理職養成への一定のニーズがみられた。また対面授業より遠隔授業を希望し、キャリアカウンセリングや職業紹介など具体的な就業支援を求めていることが明らかになった。本調査結果を踏まえて、今後の検討課題として、効果的で魅力あるリカレント教育プログラム・体制構築に向けて、ターゲットの絞り込み、提供カリキュラム・プログラム選定及び学内リソース活用、実益あるキャリアサポート、IT・デジタル対応の推進を考察した。

一層の女性活躍が求められるなか、本学が社会人女性のリカレント教育に取り組む社会的意義は大きいと考える。しかし、後発参入であることや採算や継続性を考慮すると、実現に向けた課題・ハードルは低くないと思われる。よって、リカレント教育に取り組むにあたり、慎重にスピード感を持って検討を進めていく必要がある。

謝 辞

本調査に回答いただいた卒業生の皆様、本調査設計・準備にご支援いただいた方々に心より感謝する。なお本調査は文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)2019-2024」事業の一環として実施している。

参考文献

- (1) 文部科学省『文部科学省におけるリカレント教育の取組について』（令和2年4月9日）
<https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/meeting/wg/koyou/20200409/200409koyou03.pdf>
- (2) 文部科学省『ポストコロナに向けた大学リカレント教育の役割と国の支援』（令和3年9月6日）
- (3) 有川かおり，長江曜子「女子大学におけるリカレント教育の現状と課題：女性の社会参加・仕事復帰を目的として実施されているプログラムの類型化とその課題に関する検討」『聖徳大学研究紀要』28，2018，pp.45-52
- (4) 加藤千恵，吉田咲子，小山理子，関めぐみ，谷ゆう「女子大学・女子短期大学における就業継続支援システムの構築に向けた予備的研究－在学生・教職員・卒業生に対するキャリアについてのアンケート調査結果－」『京都光華女子大学京都光華女子大学短期大学部研究紀要』56，2018，pp.71-85
- (5) 福沢恵子「就業を中断した高学歴女性の現状とキャリア開発の課題：日本女子大学リカレント教育・再就職システムの事例から」『日本女子大学現代女性キャリア研究所紀要』1，2009，pp.92-108
- (6) リンダ・グラットン，アンドリュー・スコット『LIFE SHIFT（ライフ・シフト）：100年時代の人生戦略』東洋経済新報社，2016。
- (7) 総務省『労働力調査2020年(令和2年)』
- (8) 内閣府男女共同参画局『男女共同参画白書令和2年版』
- (9) 京都女子大リカレント教育課程 <http://rccp.kyoto-wu.ac.jp/rccp/recurrent/>
- (10) 関西学院大学ハッピーキャリアプログラム <https://iba.kwansei.ac.jp/happycareer/>
(ウェブ資料は2022年1月9日に最終閲覧)

(高橋)

(表1) 基本属性 (抜粋)

| (n=964) | | (n=964) | | (n=964) | |
|--------------|-----|---------|-------------|---------|------|
| 最終卒業学科(SA) | n | % | 年齢(SA) | n | % |
| 大日 | 62 | 6.4 | 18~29歳 | 418 | 43.4 |
| 大英 | 63 | 6.5 | 30~39歳 | 134 | 13.9 |
| 大教 | 130 | 13.5 | 40~49歳 | 123 | 12.8 |
| 大心 | 38 | 3.9 | 50~59歳 | 173 | 17.9 |
| 新健 | 32 | 3.3 | 60~69歳 | 85 | 8.8 |
| 大環 | 43 | 4.5 | 70歳以上 | 26 | 2.7 |
| 大食 | 95 | 9.9 | 不明 | 5 | 0.5 |
| 大情 | 51 | 5.3 | | | |
| 大協 | 13 | 1.3 | | | |
| 大演・大応・大声・大器 | 13 | 1.3 | 居住地(SA) | | |
| 新薬・大康・大生薬 | 66 | 6.8 | 近畿 | 771 | 79.9 |
| 大議 | 6 | 0.6 | 中国 | 34 | 3.5 |
| 大学卒業計 | 612 | 63.3 | 四国 | 14 | 1.5 |
| 短日 | 38 | 3.9 | 北海道・東北 | 3 | 0.3 |
| 短英新 | 40 | 4.1 | 北陸 | 13 | 1.3 |
| 短教 | 42 | 4.4 | 東海 | 26 | 2.7 |
| 短心 | 27 | 2.8 | 甲信越 | 2 | 0.2 |
| 短健 | 12 | 1.2 | 関東 | 75 | 7.8 |
| 短生 | 38 | 3.9 | 九州・沖縄県 | 14 | 1.5 |
| 短食 | 41 | 4.3 | 海外 | 9 | 0.9 |
| 短音 | 0 | 0.0 | 不明 | 3 | 0.3 |
| 短大卒業計 | 238 | 24.6 | | | |
| 大学院卒業計(学科省略) | 80 | 8.1 | 家族形態(SA) | | |
| 専攻科(学科省略) | 13 | 1.3 | 独身・子どもなし | 509 | 52.8 |
| 女子専門学校他 | 3 | 0.3 | 独身・子どもあり | 4 | 0.4 |
| 高等学校 | 12 | 1.2 | 離婚・死別・子どもなし | 9 | 0.9 |
| 未回答その他 | 40 | 4.0 | 離婚・死別・子どもあり | 30 | 3.1 |
| | | | 既婚・子どもなし | 83 | 8.6 |
| | | | 既婚・子どもあり | 318 | 33.0 |
| | | | 未回答その他 | 11 | 1.1 |

(注) SA (シングルアンサー) =単回答, MA(マルチアンサー) =複数回答 (他表同様)

(表2) 就業状況・役職

| (n=964) | | (n=964) | | % (各世代回答者数を100として算出) | | | | | | | |
|-----------------------------------|-----|---------|-------------------------------|----------------------|------|----------------------|------|------|------|------|-------|
| 転職・復職状況(SA) | n | % | 就業状況(SA) | n | % | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
| 転職せず同じ企業・組織で働き続けている | 447 | 46.4 | 民間企業の正社員 (一般事務職) | 101 | 10.5 | 15.1 | 11.2 | 9.8 | 4.6 | 2.4 | 0.0 |
| 転職したが、以前と同じ仕事内容・業界で働き続けている | 72 | 7.5 | 民間企業の正社員 (総合職・技術職) ※研究職除く | 154 | 16.0 | 25.9 | 18.7 | 8.1 | 6.4 | 0.0 | 0.0 |
| 転職したが、以前と違う仕事内容・業界で働き続けている | 139 | 14.4 | 経営者・役員 | 14 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 3.5 | 7.1 | 3.8 |
| (退職後→数年以上無職期間後) 以前と同じ仕事内容・業界で継続勤務 | 22 | 2.3 | 教育機関(教員・保育士・事務職など) ※大学教員除く | 189 | 19.6 | 21.1 | 12.7 | 21.1 | 24.3 | 15.3 | 3.8 |
| (退職後→数年以上無職期間後) 以前と違う仕事内容・業界で継続勤務 | 80 | 8.3 | 公務員(教育職以外) | 35 | 3.6 | 3.6 | 2.2 | 4.9 | 5.8 | 1.2 | 0.0 |
| 現在は働いていない | 126 | 13.1 | 医療機関(看護師・薬剤師・管理栄養士・栄養士・事務職等) | 81 | 8.4 | 11.3 | 9.7 | 7.3 | 4.0 | 4.7 | 3.8 |
| 上記にあてはまるものはない | 78 | 8.1 | 専門職(弁護士・税理士・カウンセラー等) | 16 | 1.7 | 2.2 | 2.2 | 0.0 | 1.7 | 1.2 | 0.0 |
| | | | 研究者・研究職・大学教員(研究助手、非常勤・有期雇用含む) | 59 | 6.1 | 3.8 | 5.2 | 7.3 | 9.2 | 10.6 | 3.8 |
| ライフイベントによるキャリア変更(SA) | | | 自営業・自由業・個人事業主 | 36 | 3.7 | 0.7 | 4.5 | 6.5 | 6.9 | 5.9 | 7.7 |
| ライフイベントを機に退職したが、その後正社員として再就職した | 53 | 5.5 | 民間企業・団体等の契約社員・嘱託社員・派遣社員 | 37 | 3.8 | 1.7 | 6.0 | 3.3 | 6.4 | 7.1 | 3.8 |
| ライフイベントを機に退職したが、その後非正規社員で再就職した | 140 | 14.5 | パートアルバイト | 84 | 8.7 | 4.3 | 10.4 | 17.9 | 15.0 | 4.7 | 0.0 |
| ライフイベントを機に退職して、再就職していない | 49 | 5.1 | 専業主婦 | 68 | 7.1 | 0.7 | 11.9 | 9.8 | 9.2 | 17.6 | 23.1 |
| ライフイベントを機に退職していない | 219 | 22.7 | 学生 | 27 | 2.8 | 5.3 | 2.2 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 |
| 特にライフイベントはない | 414 | 42.9 | 働いていない(年金生活者含む) | 42 | 4.4 | 1.9 | 0.7 | 0.8 | 1.7 | 18.8 | 50.0 |
| 上記にあてはまるものはない | 89 | 9.2 | その他 | 21 | 2.2 | 2.4 | 2.2 | 2.4 | 0.6 | 3.5 | 0.0 |
| | | | | | | 417 | 134 | 123 | 173 | 85 | 26 |
| | | | (n=649) | n | % | % (各世代回答者数を100として算出) | | | | | |
| | | | 現在の役職(SA) | | | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
| | | | 経営者 | 11 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 4.9 | 11.1 | 25.0 |
| | | | 役員 | 5 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 11.1 | 0.0 |
| | | | 上級管理職(本部長・部長・室長・院長・副院長) | 4 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 1.9 | 0.0 | 25.0 |
| | | | 中級管理職(次長・課長・課長代理・マネージャー) | 26 | 4.0 | 0.3 | 3.6 | 12.3 | 10.7 | 5.6 | 0.0 |
| | | | 係長・班長・主任・チーフ・グループリーダー | 47 | 7.2 | 1.4 | 27.7 | 13.7 | 7.8 | 2.8 | 0.0 |
| | | | 一般社員(役職なし) | 305 | 47.0 | 67.9 | 37.3 | 24.7 | 13.6 | 11.1 | 25.0 |
| | | | 理事長・総長 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | | | 校長(学校長)・園長・学長 | 4 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 2.8 |
| | | | 副校長・副園長・副学長 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | | | 学部長・短期大学部長・研究科長(高等教育のみ) | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | | | 学部長・課程長・専攻長(高等教育のみ) | 2 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 2.8 | 0.0 |
| | | | 教頭・副教頭(高等教育を除く) | 3 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 0.0 | 0.0 |
| | | | 主幹教諭・指導教諭(高等教育を除く) | 3 | 0.5 | 0.0 | 1.2 | 0.0 | 1.9 | 0.0 | 0.0 |
| | | | 主任・主事教員 | 12 | 1.8 | 0.6 | 1.2 | 4.1 | 4.9 | 2.8 | 0.0 |
| | | | 教員(役職なし) | 131 | 20.2 | 22.0 | 15.7 | 17.8 | 20.4 | 19.4 | 0.0 |
| | | | 事務長 | 5 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.9 | 5.6 | 25.0 |
| | | | 事務主幹・主査 | 4 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 2.7 | 1.9 | 0.0 | 0.0 |
| | | | 事務主任・主事 | 6 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 2.7 | 2.9 | 2.8 | 0.0 |
| | | | 事務職員 | 36 | 5.5 | 2.0 | 8.4 | 13.7 | 6.8 | 11.1 | 0.0 |
| | | | 上記に当てはまるものがない | 45 | 6.9 | 5.8 | 4.8 | 5.5 | 12.6 | 11.1 | 0.0 |
| | | | | | | 346 | 83 | 73 | 103 | 36 | 4 |

年代別クロス集計は年代未回答は除外している(他表同様)

社会人女性のリカレント教育ニーズに関する調査分析

(表3) キャリア観

| (n=964) | n | % | % (各世代回答者数を100として算出) | | | | | |
|----------------------------------|-----|------|----------------------|------|------|------|------|-------|
| | | | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
| キャリア・ライフの価値観(MA) | | | | | | | | |
| 経済的に自立したい | 366 | 38.0 | 49.6 | 40.3 | 36.6 | 28.9 | 8.2 | 11.5 |
| 生きがいとなる仕事を見つけた・続けたい | 466 | 48.3 | 50.8 | 56.0 | 51.2 | 49.1 | 25.9 | 30.8 |
| グローバルに活躍したい | 108 | 11.2 | 13.2 | 9.7 | 8.9 | 13.9 | 4.7 | 3.8 |
| 社会のためになる仕事をした | 391 | 40.6 | 33.1 | 44.0 | 43.9 | 53.2 | 41.2 | 50.0 |
| できるだけ沢山お金を稼ぎたい | 313 | 32.5 | 44.4 | 41.8 | 19.5 | 23.1 | 4.7 | 11.5 |
| できるだけ昇進・出世したい | 73 | 7.6 | 9.8 | 9.0 | 7.3 | 5.8 | 1.2 | 0.0 |
| 仕事と家庭・プライベートを両立させたい | 593 | 61.5 | 67.4 | 75.4 | 66.7 | 57.8 | 27.1 | 23.1 |
| 家庭・プライベートを重視したい | 273 | 28.3 | 31.9 | 32.8 | 22.0 | 20.8 | 34.1 | 11.5 |
| 上記にあてはまるものはない | 32 | 3.3 | 1.0 | 0.0 | 3.3 | 3.5 | 8.2 | 42.3 |
| | | | 417 | 134 | 123 | 173 | 85 | 26 |
| (n=964) | n | % | % (各世代回答者数を100として算出) | | | | | |
| キャリア・ライフデザインの考え方(SA) | | | | | | | | |
| ライフイベント前と変わらないペースで働き続ける | 320 | 33.2 | 28.5 | 35.8 | 34.1 | 39.3 | 41.2 | 23.1 |
| 退職せずに仕事のペースを落とす | 313 | 32.5 | 35.5 | 35.8 | 33.3 | 30.6 | 21.2 | 11.5 |
| 一旦退職、派遣社員やパートとして働き続ける | 36 | 3.7 | 5.0 | 2.2 | 2.4 | 4.6 | 1.2 | 0.0 |
| 一旦退職、家事や育児に専念、子育てが落ち着いたら仕事を再開する | 183 | 19.0 | 18.7 | 20.1 | 20.3 | 15.0 | 21.2 | 34.6 |
| 一旦退職、家事や育児に専念して専業主婦を続ける | 28 | 2.9 | 3.8 | 0.7 | 0.8 | 2.3 | 4.7 | 7.7 |
| 一旦退職、時間の融通がきく自営業者・フリーランスとして働き続ける | 45 | 4.7 | 3.6 | 5.2 | 4.9 | 5.8 | 4.7 | 11.5 |
| その他 | 39 | 4.0 | 4.8 | 0.0 | 4.1 | 2.3 | 5.9 | 11.5 |
| | | | 417 | 134 | 123 | 173 | 85 | 26 |

(表4) 学び直しの経験・関心

| (n=994) | n | % | (n=964) | n | % | % (各世代回答者数を100として算出) | | | | | |
|----------------------------|-----|------|---------------------------|-----|------|----------------------|------|------|------|------|-------|
| | | | | | | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
| 学び直し経験(SA) | | | | | | | | | | | |
| 学び直しをしている・学び直しをしていた | 329 | 34.1 | ぜひ学び直しをしたい | 187 | 19.4 | 20.6 | 23.1 | 18.7 | 20.2 | 9.4 | 3.8 |
| 学び直しをしていない | 565 | 58.6 | 条件が合えば学び直しをしたい | 515 | 53.4 | 48.4 | 56.7 | 64.2 | 55.5 | 57.6 | 46.2 |
| その他・わからない | 70 | 7.3 | 学び直しをしたができない | 35 | 3.6 | 3.4 | 4.5 | 4.1 | 3.5 | 1.2 | 7.7 |
| | | | 特に学び直しをしたいとは思わない・必要ではない | 147 | 15.2 | 18.9 | 7.5 | 8.9 | 13.3 | 17.6 | 34.6 |
| (n=329) | n | % | その他・わからない | 80 | 8.3 | 8.6 | 8.2 | 4.1 | 7.5 | 14.1 | 7.7 |
| | | | | | | 417 | 134 | 123 | 173 | 85 | 26 |
| 学び直し分野(MA) | | | | | | | | | | | |
| 英語(日常会話) | 61 | 18.5 | (n=702) | | | % (各世代回答者数を100として算出) | | | | | |
| ビジネス英語 | 19 | 5.8 | 学び直し意向(SA) | | | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
| 英語以外の語学 | 12 | 3.6 | スキルアップ(今の仕事・職場に活かす) | 461 | 65.7 | 72.9 | 73.8 | 68.6 | 55.7 | 40.4 | 25.0 |
| 簿記・税務・会計 | 43 | 13.1 | 収入アップ(手当含む) | 194 | 27.6 | 36.8 | 40.2 | 22.5 | 14.5 | 3.5 | 6.3 |
| 金融・保険 | 18 | 5.5 | 昇進昇格 | 51 | 7.3 | 11.1 | 7.5 | 3.9 | 5.3 | 0.0 | 0.0 |
| 法律・法務 | 10 | 3.0 | 転職 | 184 | 26.2 | 39.9 | 27.1 | 20.6 | 12.2 | 3.5 | 0.0 |
| 経営・マーケティング | 24 | 7.3 | 復職(育児休暇・介護休暇等からの復帰) | 22 | 3.1 | 3.5 | 5.6 | 2.0 | 2.3 | 1.8 | 0.0 |
| 政治・経済 | 6 | 1.8 | 再就職 | 52 | 7.4 | 5.9 | 10.3 | 11.8 | 8.4 | 1.8 | 0.0 |
| パソコン操作 | 64 | 19.5 | 非正規から正規社員への転職 | 31 | 4.4 | 3.8 | 7.5 | 4.9 | 3.8 | 3.5 | 0.0 |
| 統計・データ分析 | 16 | 4.9 | 海外やグローバルな仕事で活躍 | 70 | 10.0 | 11.1 | 13.1 | 7.8 | 10.7 | 1.8 | 0.0 |
| プログラミング | 13 | 4.0 | 起業・独立 | 80 | 11.4 | 10.8 | 14.0 | 9.8 | 15.3 | 5.3 | 6.3 |
| マネジメント・リーダーシップ | 24 | 7.3 | 副業・兼業 | 112 | 16.0 | 18.8 | 17.8 | 18.6 | 11.5 | 7.0 | 0.0 |
| 思考法(ロジカルシンキング、デザイン思考等) | 15 | 4.6 | 人脈づくり | 132 | 18.8 | 17.0 | 19.6 | 23.5 | 19.1 | 12.3 | 25.0 |
| 起業・独立 | 18 | 4.9 | 定年後に備える | 118 | 16.8 | 8.7 | 11.2 | 32.4 | 29.8 | 14.0 | 0.0 |
| 医療・福祉・看護 | 87 | 26.4 | 教養を深める | 420 | 59.8 | 52.8 | 63.6 | 63.7 | 64.9 | 70.2 | 43.8 |
| 健康・運動 | 30 | 9.1 | その他 | 17 | 2.4 | 1.0 | 1.9 | 1.0 | 1.5 | 12.3 | 6.3 |
| 基礎栄養・臨床栄養 | 22 | 6.7 | 特に理由はない・わからない・答えられない | 7 | 1.0 | 1.0 | 1.9 | 0.0 | 0.8 | 0.0 | 6.3 |
| 建築・不動産 | 20 | 6.1 | | | | 288 | 107 | 102 | 131 | 57 | 16 |
| インテリアデザイン | 6 | 1.8 | (n=702) | | | | | | | | |
| 服飾・ファッション | 4 | 1.2 | 学び直し領域(MA) | | | | | | | | |
| 教育 | 84 | 25.5 | 英語(日常会話) | 306 | 43.6 | | | | | | |
| 心理 | 39 | 11.9 | ビジネス英語 | 131 | 18.7 | | | | | | |
| コーチング・カウンセリング | 36 | 10.9 | 英語以外の語学 | 88 | 12.5 | | | | | | |
| デザイン(グラフィック、ウェブ等) | 14 | 4.3 | 簿記・税務・会計 | 134 | 19.1 | | | | | | |
| その他 | 36 | 10.9 | 金融・保険 | 86 | 12.3 | | | | | | |
| 忘れた・覚えていない | 3 | 0.9 | 法律・法務 | 65 | 9.3 | | | | | | |
| (n=329) | n | % | 経営・マーケティング | 126 | 17.9 | | | | | | |
| 学び直し場所(MA) | | | | | | | | | | | |
| 武庫川女子大学(大学院含む) | 49 | 14.9 | 政治・経済 | 45 | 6.4 | | | | | | |
| 武庫川女子大学院以外の国内大学・大学院 | 54 | 16.4 | パソコン操作 | 181 | 25.8 | | | | | | |
| 海外大学・大学院(通学) | 8 | 2.4 | 統計・データ分析 | 107 | 15.2 | | | | | | |
| 海外大学・大学院以外のスクール(語学学校等)(通学) | 8 | 2.4 | プログラミング | 111 | 15.8 | | | | | | |
| 国内の通信制大学 | 24 | 7.3 | マネジメント・リーダーシップ | 89 | 12.7 | | | | | | |
| 海外大学・大学院:スクール(通信) | 4 | 1.2 | 思考法(ロジカルシンキング、デザイン思考等) | 113 | 16.1 | | | | | | |
| 民間スクール(通学) | 111 | 33.7 | 起業・独立 | 75 | 10.7 | | | | | | |
| 民間スクール(通信) | 44 | 13.4 | 医療・福祉・看護 | 169 | 24.1 | | | | | | |
| カルチャーセンター | 23 | 7.0 | 健康・運動 | 152 | 21.7 | | | | | | |
| 行政主催の講座・スクール | 39 | 11.9 | 基礎栄養・臨床栄養 | 122 | 17.4 | | | | | | |
| 公共職業訓練校 | 15 | 4.6 | 建築・不動産 | 38 | 5.4 | | | | | | |
| その他 | 71 | 21.6 | インテリアデザイン | 57 | 8.1 | | | | | | |
| 忘れた・覚えていない | 14 | 4.3 | 服飾・ファッション | 55 | 7.8 | | | | | | |
| (n=35) | n | % | 教育 | 187 | 26.6 | | | | | | |
| 学び直しができていない理由(MA) | | | | | | | | | | | |
| 仕事が多忙で時間がない | 20 | 57.1 | 心理 | 233 | 33.2 | | | | | | |
| 家事や子育て、介護等で忙しく時間がない | 10 | 28.6 | コーチング・カウンセリング | 159 | 22.6 | | | | | | |
| 受講中に子どもを預ける人・場所がない | 4 | 11.4 | デザイン(グラフィックデザイン、ウェブデザイン等) | 90 | 12.8 | | | | | | |
| 学費を払う経済的余裕がない | 14 | 40.0 | その他 | 34 | 4.8 | | | | | | |
| 便利の良い場所に学校・スクールがない | 7 | 20.0 | わからない・答えられない | 10 | 1.4 | | | | | | |
| ニーズに合ったカリキュラム・講座がない | 6 | 17.1 | | | | | | | | | |
| 都合の良い時間帯に開講していない | 9 | 25.7 | | | | | | | | | |
| 将来のキャリアデザインが描けない | 7 | 20.0 | | | | | | | | | |
| 何を、どこで学ばばいいのかわからない | 8 | 22.9 | | | | | | | | | |
| その他 | 2 | 5.7 | | | | | | | | | |
| わからない・答えられない・特に理由はない | 2 | 5.7 | | | | | | | | | |

(高橋)

(表5) 武庫川女子大学が提供する学び直しの講座・プログラムへの受容性

| (n=964) | | (n=808) | | (n=808) | | (n=808) | |
|------------------------------|----------|--------------------------|----------|-------------------------------|---|---------|----------------------|
| 利用意向(SA) | n % | 講座1回あたり妥当な料金(SA) | 対面形態 | 遠隔形態 | n | % | % (各世代回答者数を100として算出) |
| ぜひ利用したい | 124 12.9 | 1,000円未満 | 92 11.4 | 280 32.2 | | | |
| 内容や費用、時間帯が合えば利用したい | 684 71.0 | 1,000~2,000円未満 | 210 26.0 | 252 31.2 | | | |
| 利用したいとは思わない | 77 8.0 | 2,000~3,000円未満 | 206 25.5 | 106 13.1 | | | |
| わからない・答えられない | 79 8.2 | 3,000~4,000円未満 | 63 7.8 | 33 4.1 | | | |
| | n % | 4,000~5,000円未満 | 32 4.0 | 11 1.4 | | | |
| | | 5,000~7,000円未満 | 31 3.8 | 9 1.1 | | | |
| | | 7,000~10,000円未満 | 3 0.4 | 2 0.2 | | | |
| | | 10,000円以上 | 1 0.1 | 0 0.0 | | | |
| | | 内容による | 150 18.6 | 118 14.6 | | | |
| | | わからない・答えられない | 20 2.5 | 17 2.1 | | | |
| | n % | | n % | | | | |
| 利用したくない理由(MA) | | 女性起業家養成講座への関心(SA) | | | | | |
| 遠方に住んでいるので通えない | 16 20.8 | ぜひ受講したい | 87 10.8 | 9.4 16.4 7.1 16.8 4.8 0.0 | | | |
| 仕事が多く学ぶ時間がない | 29 37.7 | 関心があるが受講するかはわからない | 289 35.8 | 30.8 40.5 33.0 41.3 46.0 50.0 | | | |
| 家庭(家事・育児・介護等)が忙しく学ぶ時間がない | 8 10.4 | 特に関心はない | 398 49.3 | 56.4 40.5 52.7 37.8 42.9 44.4 | | | |
| 学び直しのための金銭的余裕がない | 9 11.7 | わからない・答えられない | 34 4.2 | 3.4 2.6 7.1 4.2 6.3 5.6 | | | |
| 武庫川女子大学が提供する講座の内容・レベルに期待できない | 10 13.0 | | | 351 116 112 143 63 18 | | | |
| 他に学び直しができる学校・スクールがたくさんある | 8 10.4 | | | | | | |
| その他 | 10 13.0 | | | | | | |
| 特にない・わからない・答えられない | 14 18.2 | | | | | | |
| | n % | | | | | | |
| 利用場所・形態(MA) | | 女性管理職養成講座への関心(SA) | | | | | |
| 本学中央キャンパス(対面授業) | 267 33.0 | ぜひ受講したい | 110 13.6 | 11.7 18.1 11.6 21.0 6.3 5.6 | | | |
| 鳴尾ステーションキャンパス(対面授業) | 272 33.7 | 関心があるが受講するかはわからない | 342 42.3 | 43.0 46.6 42.0 38.5 39.7 38.9 | | | |
| インターネットを通じたリアルタイム授業 | 367 45.4 | 特に関心はない | 316 39.1 | 41.3 31.0 39.3 35.0 49.2 44.4 | | | |
| オンデマンド配信 | 660 81.7 | わからない・答えられない | 40 5.0 | 4.0 4.3 7.1 5.6 4.8 11.1 | | | |
| 講義動画を視聴して課題を提出する授業 | 293 36.3 | | | 351 116 112 143 63 18 | | | |
| その他 | 21 2.6 | | | | | | |
| わからない・答えられない | 8 1.0 | | | | | | |
| | n % | | | | | | |
| 利用時間帯(MA) | | | | | | | |
| 平日昼前 | 151 18.7 | | | | | | |
| 平日夕方・夜 | 406 50.2 | | | | | | |
| 土日祝日 | 539 66.7 | | | | | | |
| GW・夏季・冬季休暇等に集中講座 | 330 40.8 | | | | | | |
| その他 | 24 3.0 | | | | | | |
| わからない・答えられない | 45 5.6 | | | | | | |
| | n % | | | | | | |
| 開講形態・期間(MA) | | | | | | | |
| 単発講座 | 425 52.6 | | | | | | |
| 2~3回の連続講座 | 397 49.1 | | | | | | |
| 2~3ヵ月間の連続講座(週1開講として) | 392 48.5 | | | | | | |
| 3~6ヵ月間の連続講座(週1開講として) | 231 28.6 | | | | | | |
| 6ヵ月以上の長期連続講座(週1開講として) | 128 15.8 | | | | | | |
| GW・夏季・冬季休暇等の短期集中講座 | 271 33.5 | | | | | | |
| その他 | 15 1.9 | | | | | | |
| わからない・答えられない | 21 2.6 | | | | | | |

(表6) 希望するサポート内容その他

| (n=808) | | % (各世代回答者数を100として算出) | | | | | (n=808) | |
|-----------------------------------|----------|----------------------|------|------|------|------|---------|----------|
| 希望する付帯サービス(MA) | n % | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | n % |
| 専門家によるキャリアカウンセリング | 451 55.8 | 59.8 | 68.1 | 47.3 | 50.3 | 41.3 | 38.9 | 29 3.6 |
| 託児サービス | 215 26.6 | 28.5 | 51.7 | 20.5 | 10.5 | 19.0 | 16.7 | 20 2.5 |
| 再就職紹介、職業紹介、紹介サービス | 341 42.2 | 50.7 | 40.5 | 34.8 | 39.9 | 20.6 | 27.8 | 44 5.4 |
| 仕事やキャリアについて相談できるOG紹介 | 255 31.6 | 41.3 | 32.8 | 23.2 | 19.6 | 23.8 | 0.0 | 13 1.6 |
| 仕事やキャリアについて相談できる教員紹介 | 268 33.2 | 43.0 | 31.0 | 25.0 | 27.3 | 14.3 | 16.7 | 597 73.9 |
| その他 | 9 1.1 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 2.1 | 3.2 | 0.0 | 105 13.0 |
| 特にない・わからない・答えられない | 135 16.7 | 10.3 | 6.9 | 25.9 | 21.7 | 36.5 | 44.4 | |
| | n % | | | | | | | |
| 本学イベント・講座等の情報入手手段(MA) | | % (各世代回答者数を100として算出) | | | | | | |
| 鳴松会報 | 441 45.7 | 20.1 | 55.2 | 69.9 | 64.2 | 78.8 | 65.4 | |
| 大学ホームページ | 227 23.5 | 19.4 | 23.1 | 30.1 | 29.5 | 25.9 | 15.4 | |
| 学科ホームページ | 35 3.6 | 6.2 | 0.7 | 0.8 | 0.6 | 4.7 | 7.7 | |
| 学科からのお知らせ | 40 4.1 | 6.5 | 1.5 | 1.6 | 2.3 | 3.5 | 7.7 | |
| 指導教員・担任からの連絡 | 50 5.2 | 10.3 | 2.2 | 0.0 | 2.3 | 0.0 | 0.0 | |
| 同級生のメーリングリスト(クラス・ゼミ・サークル等) | 32 3.3 | 5.0 | 0.7 | 1.6 | 4.0 | 0.0 | 3.8 | |
| その他 | 24 2.5 | 1.9 | 0.7 | 2.4 | 3.5 | 4.7 | 3.8 | |
| 特に情報を得ていない | 356 36.9 | 55.4 | 34.3 | 17.9 | 20.2 | 12.9 | 30.8 | |
| | n % | | | | | | | |
| 希望する告知・連絡方法(MA) | | % (各世代回答者数を100として算出) | | | | | | |
| 大学HP(学び直し講座専用HP)に掲載する | 449 55.6 | 42.7 | 53.7 | 58.5 | 49.7 | 36.5 | 26.9 | |
| 定期的に講座案内パンフレットを郵送する | 341 42.2 | 32.6 | 47.8 | 41.5 | 34.7 | 27.1 | 26.9 | |
| 電子メールで案内する | 511 63.2 | 59.2 | 51.5 | 55.3 | 46.2 | 43.5 | 26.9 | |
| フェイスブック・SNS等で告知する | 275 34 | 29.3 | 37.3 | 27.6 | 29.5 | 14.1 | 11.5 | |
| その他 | 13 1.6 | 1.2 | 2.2 | 0.8 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | |
| 特にない・わからない・答えられない | 14 1.7 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 2.3 | 1.2 | 7.7 | |
| | n % | | | | | | | |
| 卒業後に学べる場所・講座の認知度・利用参加度(MA) | | % (各世代回答者数を100として算出) | | | | | | |
| オープンカレッジ | 271 28.1 | 12.5 | 32.8 | 43.9 | 41.0 | 48.2 | 30.8 | |
| 特別学期の科目受講 | 174 18 | 13.7 | 26.1 | 27.6 | 18.5 | 15.3 | 7.7 | |
| 教員免許更新講座 | 179 18.6 | 18.2 | 15.7 | 19.5 | 17.3 | 27.1 | 15.4 | |
| 大学主催の資格取得支援講座 | 64 6.6 | 6.0 | 2.2 | 5.7 | 9.2 | 11.8 | 7.7 | |
| 各学科開講講座 | 54 5.6 | 2.9 | 4.5 | 5.7 | 7.5 | 16.5 | 7.7 | |
| 生活美学研究所 | 59 6.1 | 3.8 | 6.0 | 10.6 | 6.4 | 9.4 | 11.5 | |
| 附属総合ミュージアム | 32 3.3 | 1.9 | 1.5 | 4.9 | 4.0 | 9.4 | 3.8 | |
| 栄養クリニック | 62 6.4 | 3.4 | 7.5 | 8.1 | 8.7 | 11.8 | 11.5 | |
| 健康運動科学研究所 | 36 3.7 | 2.4 | 3.7 | 5.7 | 4.0 | 7.1 | 3.8 | |
| 国際健康開発研究所 食育グループ | 37 3.8 | 1.9 | 2.2 | 6.5 | 4.6 | 7.1 | 15.4 | |
| 言語文化研究所 | 34 3.5 | 1.4 | 3.0 | 4.9 | 5.2 | 8.2 | 7.7 | |
| スポーツクラブ武庫女 | 74 7.7 | 3.4 | 8.2 | 17.9 | 9.2 | 11.8 | 3.8 | |
| 鳴松会主催の教養講座 | 117 12.1 | 3.1 | 9.7 | 17.9 | 22.5 | 24.7 | 30.8 | |
| その他 | 6 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 1.2 | 0.0 | |
| いずれも知らない・参加したことがない | 529 54.9 | 66.2 | 53.0 | 42.3 | 44.5 | 38.8 | 57.7 | |
| | n % | | | | | | | |
| | | 417 | 134 | 123 | 173 | 85 | 26 | |

社会人女性のリカレント教育ニーズに関する調査分析

(別表①)アンケート用紙

質問表

01 兵庫県での、あなたの最終卒業学科を教えてください。(5A)

| | |
|----|--|
| 1 | (大日) 文学部: 国文学科 (Ⅱ部含む)、日本語日本文学科 |
| 2 | (大英) 文学部: 英文学科 (Ⅱ部含む)、英米日本文学、英語文化学科 |
| 3 | (大教) 文学部: 教育学科 (初等教育専攻含む) |
| 4 | (大心) 文学部: 教育学科 (人間関係コース)、人間関係学科、人間科、心理・社会福祉学科 |
| 5 | (新健) 健康・スポーツ科学部: 教育学科 (体育専攻)、教育学科 (健康・スポーツ専攻)、健康・スポーツ科学科 |
| 6 | (大理) 生活環境学部: 生活科学科 (接眼学専攻) (Ⅱ部含む)、接眼学、生活環境学 |
| 7 | (大食) 生活環境学部: 生活科学科 (食物学専攻) (Ⅱ部含む)、食物学、食物栄養学 |
| 8 | (大情) 生活環境学部: 生活情報学科、情報メディア学科 |
| 9 | (大築) 生活環境学部: 建築学科 |
| 10 | (大演・大応・大声・大器) 音楽学部: 演劇学科、応用音楽学科、声楽学科、器楽学科 |
| 11 | (新薬・大薬・大生薬) 薬学部: 薬学科、健康生命科学科、生物薬学科 |
| 12 | (大護) 看護学部: 看護学科 |
| 13 | (明日) 国文学科 (Ⅱ部含む)、国文学科 (Ⅱ部含む)、日本語文化学科 |
| 14 | (国際新) 英文科 (Ⅱ部含む)、英語学科、英語コミュニケーション学科、英語キャリア・コミュニケーション学科 |
| 15 | (国教) 教育学科 (Ⅱ部含む)、初等教育学科 (Ⅱ部含む)、児童教育学科 (Ⅱ部含む)、児童教育学科、幼児教育学科 |
| 16 | (理心) 初等教育学科 (人間関係コース)、人間関係学科、人間関係学、心理・人間関係学科 |
| 17 | (国健) 体育科、体育学科、健康・スポーツ学科 |
| 18 | (国学) 接眼科 (Ⅱ部含む)、家政科 (接眼学専攻) (Ⅱ部含む)、生活造形学科 |
| 19 | (国農) 家政科 (家政専攻) (Ⅱ部含む)、食生活学科 (Ⅱ部含む) |
| 20 | (国音) 音楽科 |
| 21 | (国日博) 文学研究科 国語国文学専攻、文学研究科 日本語日本文学専攻 |
| 22 | (国英博) 文学研究科 英語英米文学専攻 |
| 23 | (国教博) 文学研究科 教育学専攻 |
| 24 | (国心博) 文学研究科 心理臨床学専攻、文学研究科 臨床心理学専攻 |
| 25 | (国臨博) 臨床教育学研究科 臨床教育学専攻 |
| 26 | (国健博) 健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学専攻 |
| 27 | (国高博) 総合学 家政学研究科 食物学専攻、家政学研究科 食物栄養学専攻、生活環境学研究科 食物栄養学専攻 |
| 28 | (国高博) 総合学 家政学研究科 接眼学専攻、家政学研究科 生活環境学専攻、生活環境学研究科 生活環境学専攻 |
| 29 | (国高博) 総合学 生活環境学研究科 建築学専攻 |
| 30 | (国薬博) 薬学部 薬学専攻、薬学研究科 薬科学専攻、薬学研究科 医療薬学専攻 |
| 31 | (国護博) 看護学研究科 看護学専攻 |
| 32 | 文学専攻科 教育学 (教育) |
| 33 | 文学専攻科 教育学 (体育) |
| 34 | 音楽専攻科 (声楽専攻、器楽専攻) |
| 35 | 短大専攻科 児童教育専攻 |
| 36 | 女子専門学校 (国文学科、英文科、家政科、接眼科)・その他保育専攻科、その他別科、その他家庭専攻科 |
| 37 | 高等女学校、高等学校、附属高等学校 |
| 38 | 上記にない・覚えていない・答えたくない |

02 あなたの卒業年を教えてください。(5A)

| | |
|------|-------------------------------------|
| 1~81 | 1940年(昭和15年)~2020年(令和2年) (1年刻みの選択欄) |
| 81 | 2020年(令和2年) |
| 82 | 忘れた・わからない・答えたくない |

03 あなたの年齢(満年齢)を教えてください。(5A)

| | |
|------|------------------|
| 1~82 | 18歳~99歳 |
| 83 | 忘れた・わからない・答えたくない |

04 あなたの現在の居住地を教えてください。(5A)

| | |
|----|---|
| 1 | 兵庫県 |
| 2 | 大阪府 |
| 3 | 京都府 |
| 4 | 奈良県 |
| 5 | 滋賀県 |
| 6 | 和歌山県 |
| 7 | 中国地方 (鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県) |
| 8 | 四国地方 (香川県、徳島県、愛媛県、高知県) |
| 9 | 北海道、東北地方 (青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県) |
| 10 | 北陸地方 (富山県、石川県、福井県) |
| 11 | 東海地方 (愛知県、岐阜県、三重県、静岡県) |
| 12 | 甲信越地方 (山梨県、長野県、新潟県) |
| 13 | 関東地方 (茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県) |
| 14 | 九州地方 (福岡県、大分県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県)、沖縄県 |
| 15 | 海外 |
| 16 | 答えたくない |

05 卒業後の転職、復職について教えてください。産休・育休、介護休暇等で一定期間休んで復職した場合は「働き続けています」として下さい。一時的なものも含みます。(5B)

| | |
|---|---|
| 1 | 転職せず同じ企業・組織で働き続けている |
| 2 | 転職したが、以前と同じ仕事内容・業界で働き続けている |
| 3 | 転職したが、以前と違う仕事内容・業界で働き続けている |
| 4 | 退職して数年以上の無職期間があったが、以前と同じ仕事内容・業界で働き続けている |
| 5 | 退職して数年以上の無職期間があったが、以前と違う仕事内容・業界で働き続けている |
| 6 | 現在は無職ではない |
| 7 | 上記にあてはまるものはない |

06 あなたはライフイベント(結婚や妊娠・出産、育児、配偶者の転職、家族の介護・看護等)を機に転職したことがありますか。その後は再就職しましたが、その後正社員として再就職した。(5B)

| | |
|---|---|
| 1 | ライフイベントを機に転職したが、その後正社員として再就職した。 |
| 2 | ライフイベントを機に転職したが、その後非正規社員(パートアルバイト含む)として再就職した。 |
| 3 | ライフイベントを機に転職したが、再就職していない。 |
| 4 | ライフイベントを機に転職していない。 |
| 5 | 特にライフイベントはない。 |
| 6 | 上記にあてはまるものはない |

07 現在の就業状況について教えてください。最も近いものを選んで下さい。(5A)

| | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | 民間企業の正社員(一般事務職) |
| 2 | 民間企業の正社員(総合職・技術職) ※研究職除く |
| 3 | 経営者・役員 |
| 4 | 教育機関(教員、保育士、事務職など) ※大学教員除く |
| 5 | 公務員(教育職以外) |
| 6 | 医療機関(看護師、薬剤師、管理栄養士、栄養士、事務職等) |
| 7 | 専門職(弁護士、税理士、カウンセラー等) |
| 8 | 研究者・研究職・大学教員(教育研究に注ぎ手等含む、非常勤・有期雇用含む) |
| 9 | 自営業・自由業・個人事業主 |
| 10 | 民間企業・団体等の契約社員・嘱託社員・派遣社員 |
| 11 | パートアルバイト |
| 12 | 専業主婦 |
| 13 | 学生 |
| 14 | 働いていない(年金生活者含む) |
| 15 | その他 |

08 現在の役職について教えてください。該当名称がない場合は同等レベルで教えてください。(5A)

| | |
|----|--------------------------|
| 1 | 経営者 |
| 2 | 役員 |
| 3 | 上級管理職(本部長・部長・課長・院長・副院長) |
| 4 | 中級管理職(次長・課長・課長代理・マネージャー) |
| 5 | 係長・班長・主任・チーフ・グループリーダー |
| 6 | 一般社員(役職なし) |
| 7 | 理事長・社長 |
| 8 | 校長(学校長)・園長・学長 |
| 9 | 副校長・副園長・副学長 |
| 10 | 学部長・短期大学学部長・研究科長(高等教育のみ) |
| 11 | 学部長・課長・専攻長(高等教育のみ) |
| 12 | 教頭・副教頭(高等教育を除く) |
| 13 | 主幹・副主幹(高等教育を除く) |
| 14 | 主任・主事教員 |
| 15 | 教員(役職なし) |
| 16 | 審判員 |
| 17 | 事務主幹・主査 |
| 18 | 事務主任・主事 |
| 19 | 事務職員 |
| 20 | 上記にあてはまるものがない |

09 現在の業種について教えてください。(5A)

| | |
|----|----------------------|
| 1 | 保健・衛生・医療福祉 |
| 2 | スポーツ関係 |
| 3 | 公務員(国・地方自治体) |
| 4 | 教育関係 |
| 5 | 研究機関(大学含む)・検査機関 |
| 6 | 音楽関係 |
| 7 | 建設関係 |
| 8 | 製造 |
| 9 | 金融・保険 |
| 10 | 卸・商社・小売 |
| 11 | 情報通信 |
| 12 | サービス業(接客・宿泊・飲食・不動産等) |
| 13 | 農林・水産 |
| 14 | その他 |

010 結婚状況、子どもの有無について現在の状況を教えてください。子どもは同居、別居、独立は問いません。(5A)

| | |
|---|-------------|
| 1 | 独身、子どもなし |
| 2 | 独身、子どもあり |
| 3 | 離婚・死別、子どもなし |
| 4 | 離婚・死別、子どもあり |
| 5 | 再婚・子どもなし |
| 6 | 再婚・子どもあり |
| 7 | その他 |
| 8 | 答えたくない |

011 家計の主たる稼ぎ手は誰ですか。(5A)

| | |
|---|---|
| 1 | 自分が主たる稼ぎ手である |
| 2 | 配偶者・パートナーが主たる稼ぎ手であるが、自分はパートアルバイト等で家計補助のために働いている |
| 3 | 配偶者・パートナーも自分も稼ぎ手である(共働きである) |
| 4 | 配偶者・パートナーが主たる稼ぎ手で、自分は働いていない |
| 5 | その他(年金生活者、親や兄弟、子供等が主たる稼ぎ手など) |
| 6 | 答えたくない |

012 現在のあなたの価値観に近いものを選んでください。(5A)

| | |
|---|-------------------------|
| 1 | 経済的に自立したい |
| 2 | 生きがいや意義のある仕事を見つけたい・続けたい |
| 3 | グローバルに活躍したい |
| 4 | 社会のためになる仕事をしたい |
| 5 | できるだけ見込みある稼ぎたい |
| 6 | できるだけ楽々・出社・休出したい |
| 7 | 仕事と家庭・プライベートを両立させたい |
| 8 | 定年・プライベートを重視したい |
| 9 | 上記にあてはまるものはない |

013 ライフイベント(結婚・妊娠出産・育児等)があった時のキャリアへの考え方で最も近いものを選んでください。ご自身の経験だけでなく、理想としての理想の働き方について教えてください。(5A)

| | |
|---|--|
| 1 | ライフイベント前と変わらないペースで働き続ける(家族サービスや外部サービス等を利用) |
| 2 | 退職せず、仕事のペースを落とす(部門異動や短時間勤務等) |
| 3 | 一旦退職して、派遣社員やパートとして働き続ける |
| 4 | 一旦退職して、しばらくは家事や育児に専念して、子育てが落ち着いたら仕事を再開する |
| 5 | 一旦退職して、家事や育児に専念して、専業主婦を続ける |
| 6 | 一旦退職して、時間の融通がうまく自営業・フリーランスとして働き続ける |
| 7 | その他 |

014 卒業後、仕事やキャリア(転職、再就職や起業を含む)のために、学び直しをしたことがありますか(現在進行中も含みます)。勤務生等の必須受講科目などは除いて、あくまでも自発的に学んだものです。ビジネス書やWeb講座による独学、単発の研修、講座受講は除いて下さい。なお卒業学科が提供している資格、免許の更新研修や、資格認定協会・団体が主催している資格更新研修は除いて下さい。(5A)

| | |
|---|---------------------|
| 1 | 学び直しをしている・学び直しをしていた |
| 2 | 学び直しをしていない |
| 3 | その他・わからない |

015 どんな分野の学び直しか、具体的に教えてください。(5A)

| | |
|----|---------------------------|
| 1 | 英語(日常会話) |
| 2 | ビジネス英語 |
| 3 | 英語以外の語学 |
| 4 | 簿記・税務・会計 |
| 5 | 金融・保険 |
| 6 | 法律・法務 |
| 7 | 経営・マーケティング |
| 8 | 造形・デザイン |
| 9 | IT・プログラミング |
| 10 | 統計・データ分析 |
| 11 | マネジメント・リーダーシップ |
| 12 | 簿記・会計 |
| 13 | 資格・検定(ビジネス系) |
| 14 | 起業・独立 |
| 15 | 医療・福祉・看護 |
| 16 | 健康・運動 |
| 17 | 基礎知識・基礎知識 |
| 18 | 簿記・簿記 |
| 19 | インテリアデザイン |
| 20 | 服飾・ファッション |
| 21 | 教育 |
| 22 | 心理 |
| 23 | コーチング・カウンセリング |
| 24 | デザイン(グラフィックデザイン、ウェブデザイン等) |
| 25 | その他 |
| 26 | 覚えていない |

(高橋)

016 主にどの場所ですばりましたか(学んでいますか)? (M6)

017 今後、学び直しがしたいですか。(S6)

018 学び直をしたい理由は何ですか。(M6)

019 どんな分野の学び直しがしたいですか。(M6)

020 具体的な学びの内容(取得したい資格名、学びたい講座内容、スキルアップしたい具体的な内容)を教えてください。(F6)

021 学び直しがしたいができていない理由は何ですか? (M6)

022 武庫川女子大学が、学び直しの講座・プログラムを提供するとしたら利用したいと思います。講座だけでなく、インターネット配信での講座も提供することを前提として、教えてください。(S6)

023 武庫川女子大学が、学び直しの講座を提供するとしたら、どの場所・提供形態なら利用したいと思いますか。(M6)

024 どの時間帯なら利用したいと思いますか。(M6)

025 武庫川女子大学が、学び直しの講座を提供するとしたら、どんな開講形態なら利用したいと思いますか。(M6)

026.1 武庫川女子大学が、学び直しの講座として、女性起業家や女性管理職を養成する講座を開講するとしたら、関心がありますか。/女性起業家養成講座-先輩女性起業家を講師として招いて授業の方法・スキルについて学ぶ講座(58)

026.2 武庫川女子大学が、学び直しの講座として、女性起業家や女性管理職を養成する講座を開講するとしたら、関心がありますか。/女性管理職養成講座-先輩女性管理職を講師として招いて経営・マーケティング・マネジメント・リーダーシップについて学ぶ講座(58)

027.1 武庫川女子大学が、学び直しの講座を提供するとしたら、授業料は講座1回(90分)あたり、いくらなら実用で利用したいと思いますが、対面授業の場合と、オンライン授業の場合でそれぞれ回答下さい。/対面授業1回あたり(58)

027.2 武庫川女子大学が、学び直しの講座を提供するとしたら、授業料は講座1回(90分)あたり、いくらなら実用で利用したいと思いますが、対面授業の場合と、オンライン授業の場合でそれぞれ回答下さい。/オンライン授業1回あたり(58)

028 武庫川女子大学が、学び直しの講座を提供する場合、あればいいと思うサービスはどれですか。(M6)

029 武庫川女子大学が、学び直しの講座を提供するとしたら、どのような方法で告知・連絡して欲しいですか。(M6)

030 なぜ利用したいと思わないのですか?理由を教えてください。(M6)

031 あなたは大学院への進学を希望していますか。すぐではなく将来的な希望でも結構です。(S6)

032 大学院への進学を検討・準備するにあたり、どんなサポートが必要ですか? (M6)

033 本学では、卒業生が卒業後に学べる場所や講座を提供しています。知っているもの、卒業後に利用参加したことがあるものを教えてください。(M6)

034 本学のイベントや講座等について、どうやって情報入手していますか。(M6)

035 学び直しについて、何かご意見・ご希望があれば自由にお書きください。(F6)

**Survey Analysis of Adult Women's needs for Recurrent Education:
Based on the Questionnaire Survey of Graduates of Mukogawa Women's University**

Universities and other educational institutions should improve the recurrent education for women in light of the 100-year life era. Through a questionnaire-based survey of graduates of Mukogawa Women's University (including Mukogawa College), we were able to better understand the needs for recurrent education among adult women. They were highly motivated to learn again, and there was a steady demand for courses in business, statistics, information, and management, in addition to fields related to their former departments. They preferred distance education instead of face-to-face classes and sought specialized employment assistance such as career counseling and job placement. The following topics were discussed for the next recurrent education program to be implemented at the university: building a system that integrates effective and appealing programs, narrowing down the target, selecting curricula by employing university resources, providing effective career support, and promoting IT and digitalization.

Keywords: recurrent education, relearning, adult women, graduate survey, women's college